

# にしじんこうぼう 西陣工房だより

社会福祉法人 京都西陣福祉会  
障害者多機能型事業所 西陣工房  
〒603-8333 京都市北区大將軍東鷹司町 109-1  
☎(075)462-9101 Fax(075)468-9122 mail info@nishijinkoubou.com



ぜんきょうとしょうがいしゃたいかい たつきゅう 卓球バレーの部 いっぽんぶ 一般の部・施設の部アベック優勝達成!! (島津アリーナにて)

## 【7月の予定】

- 7月1日(土)ウクレレサークル 10時~12時
- 7月17日(月)海の日はお休みです。

### 【来月以降の予定】

- 8月5日(土)ウクレレサークル
- 8月11日(金)山の日 仕事をします。
- 8月12日(土)リクレーション (海水浴予定)
- 8月13日(日)~8月16日(水)お盆休み
- 8月16日(水)大文字鑑賞会 & 食事会
- 9月29日(金)、30日(土)西陣工房オープンデー
- 10月7日(土)~9日(月)秋合宿 国立能登青少年交流の家

●7月1日(土)ウクレレサークル 10時~12時

6月はイオンマルシェでステージ発表をしました。「丘を越えて」、「青い山脈」、「みかんの花咲く丘」、「365日の紙飛行機」の4曲を演奏しました。7月は新しい曲を練習します。1曲目は「七夕さま」(フラット1つ)へ長調でシの音が1つ下がります。2曲目は「夏の思い出」ハ長調の曲です。楽譜を渡しますので練習してくださいね。



【先月のできごと】

- 6月3日(土)ウクレレサークル 利用者14名参加  
保護者13名参加
- 6月10日(土)第2回ほっとはあとマルシェ(イオンモール京都) 利用者21名参加
- 6月17日(土)第21回山口県・萩卓球バレー交流大会 利用者4名参加
- 6月18日(日)全京都障害者総合スポーツ大会卓球バレーの部(島津アリーナ) 利用者21名参加

●6月10日(土)第2回ほっとはあとマルシェ(イオンモール京都) 利用者21名参加

京都で活動する25の障害者施設がイオンモールKYOTO4階のkotoホールに大集合し、製品販売はもちろん、ステージ発表やワークショップも行う、第2回「ほっとはあとマルシェ」が昨年8月に続いて開催されました。

2回目と言うことで、スタッフも会場のことを熟知し、前回の反省を踏まえて、今回は土曜日1日のみの開催にして、4階廊下の催事場も使わせてもらって集客力のアップを狙いました。西陣工房は今回もウクレレのステージに多くの利用者が出演し、またワークショップではさをり織りに替えて木枠に細い糸を巻き付けて作る「西陣の彩り」作りをするなど勢力的に取り組みました。保護者の皆さんの協力もあって今回もまずまずの売上でした。ありがとうございました。この催しは、関係者の懇親会のようなものになっていますが、今後さらに視野を広げて、障害者の実力を一般の方々に知ってもらおう内容を目指しています。ですから、良いものづくりや感動的なステージが大変重要な要素になってきます。皆さんの日々努力を期待したいとおもいます。

第3回ほっとはあとマルシェは来年2月頃に開催する予定です。



イオンモール KYOTO4 階 koto ホールの様子 R5.6.10



西陣の彩り体験の様子 R5.6.10



ウクレレのステージ発表 R5.6.10

●6月17日(土)第21回山口県卓球パレー交流大会(萩市民体育館)

利用者4名参加

コロナで4年ぶりの再開となる萩大会に参加しました。この大会には宿敵ひまわりチームだけでなく佐賀県、大分県、鳥取県など日本卓球パレー連盟西ブロック(京都は日本卓球パレー連盟中ブロック)の強豪6チームの参加があり、西陣工房を含む7チームの総当たり戦。1試合目から気の抜ける試合はひとつもなく全ての試合で集中力と半端ない緊張感が漂いました。西陣工房チームは何とか無難に一戦一戦勝ち進み5勝。最後にひまわりチームと決勝戦になりました。ひまわりチームは3月の全国大会の西陣工房の戦い方に危機感をもたれ戦い方を変えて来られそれに太刀打ちできず2セット取られ負けてしまい、結果2位でした。やはり、ひまわりチームは強かった。500 km以上の距離を往復車では大変なので帰りは新門司港から阪九フェリーで帰ってきました。船中で今回の反省点や今後に向けてなどの話もゆっくりでき良い船旅になりました。船の露天風呂最高でした。来年こそ優勝目指してがんばろう!!



試合を終えて R5.6.17 (萩市民体育館)



壇ノ浦 SA 展望台にて R5.6.17 (山口県)

●6月18日(日)第43回全京都障害者総合スポーツ大会卓球パレーの部(島津アリーナ)

利用者21名参加

20年前は120チームが参加したこの大会ですが今回はわずか24チームと大きく減少しており、大会を盛り上げるためには工夫必要に思いますが、何故か、100チーム以上の参加があった時のスタイルを今も踏襲しているのがこの大会であり、少ない参加チームをさらに一般の部16、施設の部6、学校の部2の三分に分けてそれぞれで優勝を目指す淋しい大会となりました。

西陣工房は、さすがに3チームすべてを施設の部に入れるのは面白くないと考え、Aチームを一般の部に入れて、2部門での優勝を目指しました。午前の予選リーグでは一般の部でAチームが2勝して準決勝に進出。Bチームも施設の部で2勝して決勝進出しましたが、Cチームは残念ながら2敗で予選敗退ということになりました。

午後、Aチームは準決勝の八幡市を無難に下し、決勝は京田辺と。接戦の末、2-0で勝利し、一般の部で初参加で初優勝しました。Bチームも危なげなく太陽の家を下し、施設の部12連覇をかざり、史上初の一般の部と施設の部のアベック優勝となりました。



全スポ卓球パレー大会 施設の部 優勝 R5.6.18 (島津アリーナ)



全スポ卓球パレー大会 一般の部 優勝 R5.6.18 (島津アリーナ)

## おさぎょう 織り作業

今月は織り作業について特集です。  
西陣工房のオリジナル生地を織っています。

織を担当している田宮です。織の作業、機の状況についてお伝えします。

現在、ジャガード機が載った高機が6台あります。内訳は小幅が2台、75cm広幅が1台、90cm広幅2台、120cm広幅（電子ジャガード）が1台です。他にスクイ機2台、さをり機5台あります。帯や着尺であれば小幅の機で対応できますが、西陣工房のように小物に加工するのであれば広幅の生地が良いこととなります。最初にさをり機、スクイ機で杼の越し方、耳付き、打ち込みなど織の練習をして織の基本を覚えて頂きます。織のリズムが取れるようになればジャガード小幅を織ります、慣れたら柄を織り、その後、広幅へとステップアップしていきます。

以前はジャガードを上下させるため踏み木を踏んで開口していましたが、今は開口機のフットスイッチを踏むだけになっています。柄が替わるたびに紋紙を取り替えていましたが今はパソコンで直ぐ交換できるようになっています。杼（シャトル）を越してカマチで打っていくことは変わりません。これが今の手織りになります。織ること自体はそう難しくはありませんがキズの無いきれいな生地を織ることは経験が必要になります。経て糸も広幅であれば4500本～11000本あり、切れたときは綜統、フミセ、晟など通し、きれいに直さないとキズになります。打ち込みも指示通りでないと柄が伸びたり縮んだりします。一日中機屋に座ってキズが出ないように気を使って織っていく、こんなことを書きますと織は大変だと思われそうですがどんな作業も同じで好きになりやる気があれば個人差はあれ上達していきます。長い目で見ていき織がやりたい人、織りができる人が増えればと思っています。織り上がった生地がクラフト班で加工されいろいろな製品に生まれ変わって販売されると利用者もやる気が出てきます。そのためにはキズの無い品質の高い生地が提供できるように取り組んでいかなければならないと織り班一同思っています。



ジョゼフ・マリー・ジャカル (Joseph Marie Jacquard, 1752年7月7日 - 1834年8月7日) は、フランスの発明家。ジャカード織機というプログラム可能な初期の織機の開発で知られる人物。ジャカード織機は他のプログラム可能な機械の開発にも重要な役目を果たし、後のコンピュータの開発にも繋がっている。



2階織り班の天井にはジャカード機を修理するためのキャットウォークがあります。西陣工房にいられたときは一度織り班の天井を見てくださいね。

今月は確認表はありません。\*ウクレレサークルの方で8月5日(土)休まれる方は事前にお知らせください。